

【北海道】水害の被害状況等情報共有会議を実施しました

目的: 本格的には台風期を迎えるにあたって、平成30年7月豪雨での被害状況や浮き彫りになった課題を共有し、「施設では防ぎきれない大洪水は発生する」との危機意識をもって、住民等に洪水ハザードマップを周知していただくことを目的に、あわせて、周辺市町村での洪水ハザードマップの作成・利活用の状況を意見交換することで、洪水ハザードマップの点検や継続的な周知の取組みの参考としていただくことも目的として共有会議を実施しました。

実施日: 平成30年8月20日(月)

開催場所: 岩見沢河川事務所 1階大会議室

参加機関: 新篠津村、岩見沢市、美唄市、三笠市、月形町

空知総合振興局、札幌建設管理部、札幌開発建設部、岩見沢河川事務所

主な意見交換

地域の水害リスクや洪水時の避難に関する情報を住民等に提供するツールである洪水ハザードマップを活かすために、短期的・次期出水期までにどのような取り組みをすべきか。

【短期的に取り組むもの】

1) ハザードマップの点検について

学校の閉校・合併により避難所更新が必要だが毎年マップを更新するのは予算的にも難しい。

2) ハザードマップの周知について

全戸配布や町内会へ出前講座等で地道に周知を行っているすべての人がインターネットを使えるとは限らないので、HP情報も一長一短である。
マップを全国的に統一し、どの地域でも同じマップにした方がわかりやすいのではないか。

【次期出水期までに取り組むもの】

1) ハザードマップの見直しについて

現在、L2に対応したマップ作成中。防災ガイドブックとして知識を入れ込み、HP上でも見やすい工夫を行っていく予定。
北海道管理区間のL2対応が遅れている。

2) ハザードマップの利活用について

訓練・出前講座・地域のイベント等で利活用を行っていく。

情報共有会議の実施状況

